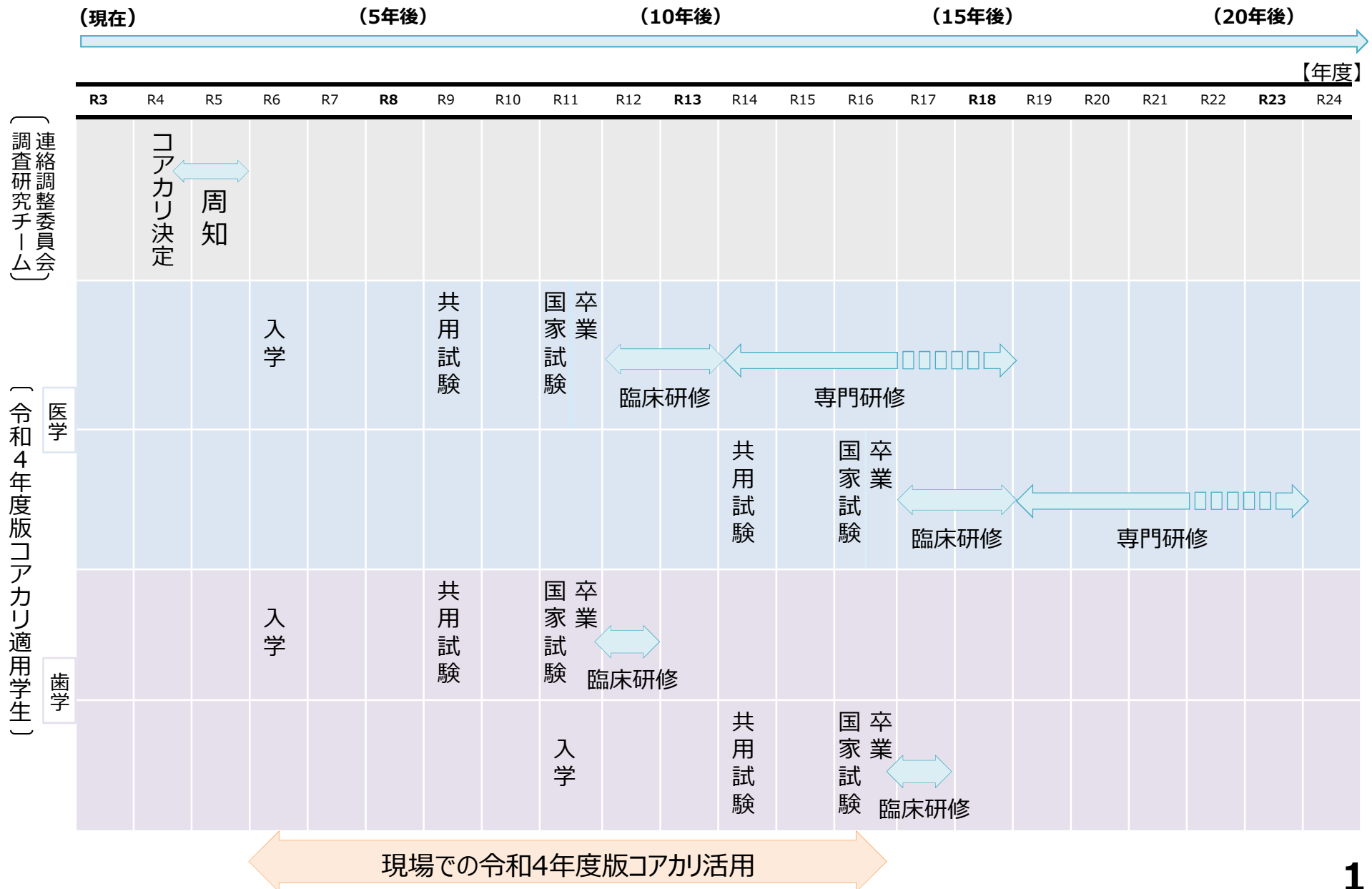


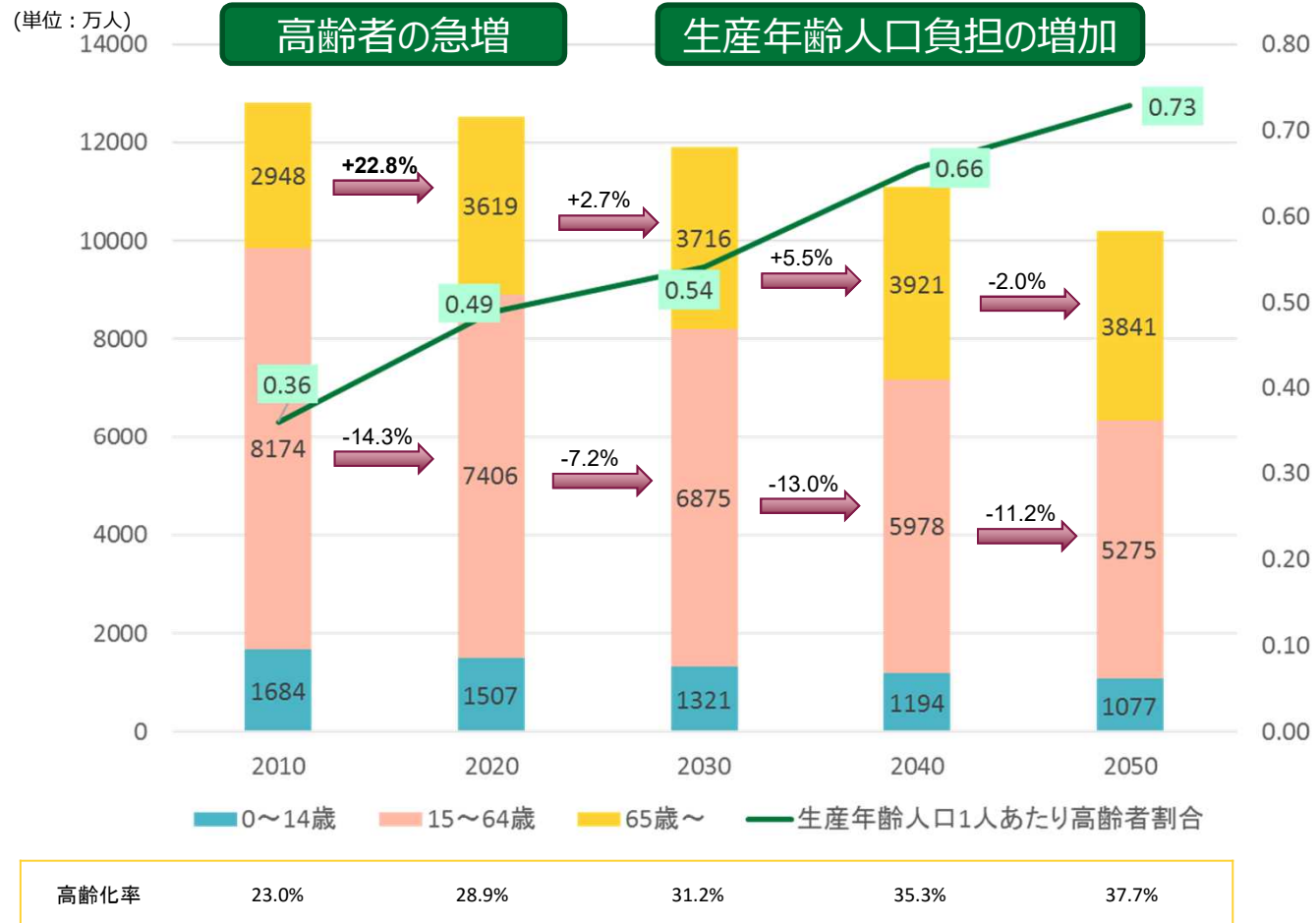
# 次期医学/歯学教育モデル・コア・カリキュラム スケジュール（案）

参考資料2



# 2050年までの人口構造の変化①

- 高齢人口のピークは2040年頃。ただし、2040年以降も高齢化率は上昇を続ける。
- 生産年齢人口負担は、2040年以降も増加を続ける。

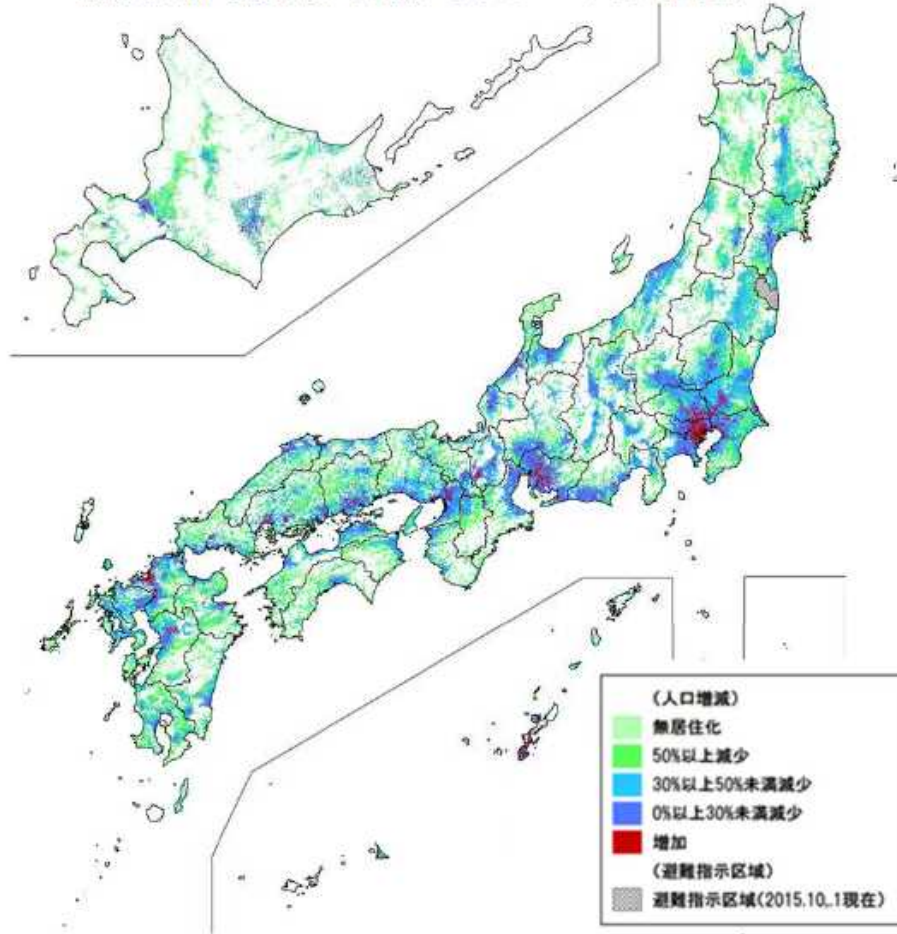


(出典)総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 平成29年推計」

## 2050年までの人口構造の変化②

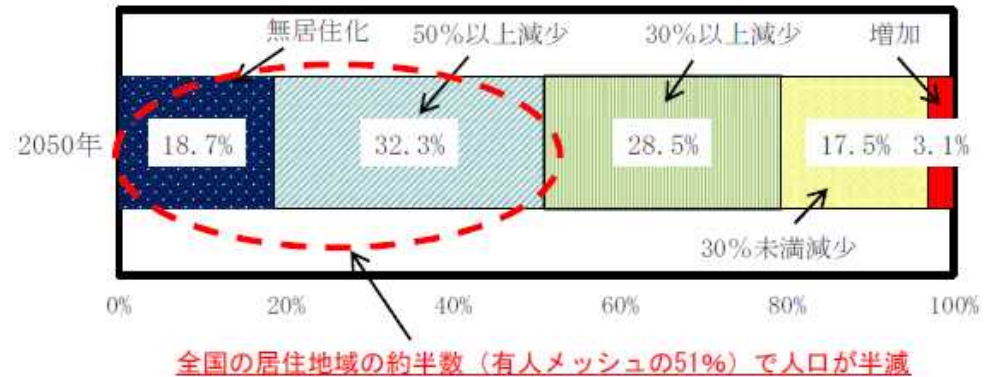
- 人口が半分以下になる地点が全国の居住地域の5割以上
- 人口が増加する地点の割合は約3%

将来の人口増減状況（1kmメッシュベース、全国図）

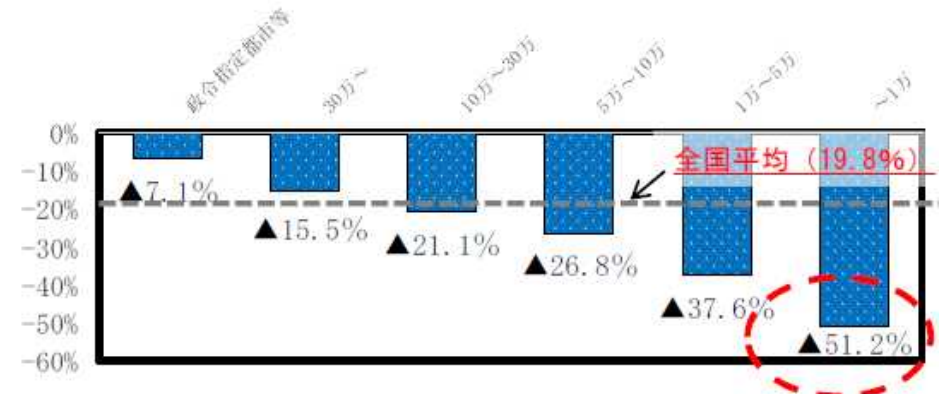


出典：「国土の長期展望」最終とりまとめ参考資料  
 （令和3年6月国土審議会計画推進部会国土の長期展望専門委員会）

人口増減割合別の地点数（1kmメッシュベース）



市区町村の人口規模別の人口減少率



- （備考）
1. 総務省「平成27年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」等より、国土交通省国土政策局作成。
  2. 左図で、平成27年国勢調査時点（平成27年10月1日現在）における避難指示区域を黒塗り（斜線）で示している。